



(右から)相良、滝野



株主通信

第77期

2024年4月1日～2025年3月31日

小野薬品工業株式会社

証券コード4528

株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社は、世界中の患者さんに革新的な医薬品をお届けし
続けるグローバルスペシャリティファーマを目指し、全社
を挙げてグローバル事業の拡大に取り組んでおります。
2024年6月、米欧において研究・開発・販売基盤を有し
ているDeciphera Pharmaceuticals(デサイフェラ
社)を買収し、2025年2月にはデサイフェラ社の「ロンビ
ムザ」が米国食品医薬品局(FDA)において腱滑膜巨
細胞腫(TGCT)の治療薬として承認されました。
2025年7月を目途に、デサイフェラ社に当社の米欧に
おける開発・販売に関する事業拠点を統合し、既存の
がん領域に加えて他の疾患領域においても米欧での
開発及び販売を担う新たな事業拠点といたします。

米欧での研究・開発および販売体制を充実させグロー
バル展開を加速してまいります。

今後も、企業理念である「病気と苦痛に対する人間の闘い
のために」のもと、一人でも多くの患者さんに革新的な
医薬品をお届けできるよう、挑戦を続けてまいります。
株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。

代表取締役会長CEO

相良 暁

代表取締役社長COO

滝野 十一

▶ 営業の概況・予想(連結IFRS)／利益還元方針

財務ハイライト(連結)

単位:億円	2024年 3月期	2025年 3月期 ^{※1}	対前期 増減率	2026年 3月期予想	対前期 増減率
売上収益	5,027	4,869	△3.1%	4,900	0.6%
営業利益	1,599	597	△62.6%	850	42.3%
コア営業利益 ^{※2}	1,809	1,127	△37.7%	1,140	1.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,280	500	△60.9%	670	33.9%
コア当期利益 ^{※2}	1,425	904	△36.6%	910	0.7%

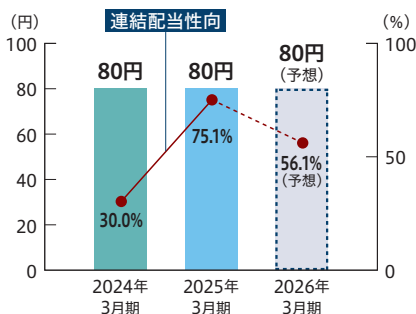
※1 2025年3月期は、2024年6月に買収したデサイフェラ社の2024年7月から2025年3月までの9か月分の業績を計上しています。

※2 2024年度より、当社の本業での業績をご覧いただくために、通期予想にコア営業利益とコア当期利益をお示しします。

コア営業利益とコア当期利益は買収に係る無形資産の償却費などを控除しています。

利益還元方針について

〈年間配当実績と次期予想〉



株主還元(配当)は、毎年の年間配当金を維持または増額する累進的な方針であり、各期の業績状況、各種指標を考慮したうえで、配当性向40%をめどに配当を行うことを目標としています。

株主の皆さまへの当期の期末配当金につきましては、1株につき40円とさせていただきます。これにより、年間にお支払いする配当金は、中間配当40円と合わせて1株につき80円となります。次期の配当金につきましては、1株80円(中間40円、期末40円)を予定しています。

▶ 業績の詳細は、当社のHPをご覧ください。 <https://www.ono-pharma.com/ja/ir/library>



▶ 製品情報

国内製品売上

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、薬価引き下げの影響などにより、前期比で252億円(17.3%)減少の1,203億円となりました。

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病での使用が拡大したことにより、前期比135億円(17.7%)増加の896億円となりました。

海外製品売上

当社グループ会社のデサイフェラ社が販売する消化管間質腫瘍治療剤「キンロック」の売上(2024年7月から2025年3月の9ヵ月)は、255億円となりました。

また、2025年2月より腱滑膜巨細胞腫(TGCT)治療薬「ロンビムザ」の販売を開始しました。

その他の主な製品の売上収益と次期売上収益の見込みは以下となります。

主な製品の売上収益と予想

製 品 名		2024年度 売上収益(実績) (億円)	対前期 増減率	2025年度 売上収益(予想) (億円)	対前期 増減率
国 内	オブジーボ点滴静注	1,203	△17.3%	1,250	3.9%
	フォシーガ錠	896	17.7%	800	△10.7%
	オレンシア皮下注	266	3.0%	280	5.2%
	グラクティブ錠	183	△13.4%	120	△34.6%
	ベレキシブル錠	105	3.1%	110	4.4%
	カイプロリス点滴静注用	86	△5.9%	90	4.6%
	パーサビブ静注透析用	84	2.5%	90	6.7%
	オンジェンティス錠	76	21.0%	90	17.8%
海 外	オブジーボ	131	9.3%	135	2.9%
	キンロック	255	—	340	33.4%
	ロンビムザ	非開示	—	50	—

▶ 開発品の進捗状況

(2025年4月23日現在)

■ がん領域

製品名／開発コード／一般名	投与方法	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ	注射	肝細胞がん、1次治療(ヤーボイ併用)					日本
							韓国、台湾
		肝細胞がん、術後補助療法					日本、韓国、台湾
		MSI-H/dMMR結腸・直腸がん、1次治療(ヤーボイ併用)					日本
		非小細胞肺癌、術前術後補助療法(化学療法併用)					日本、韓国、台湾
		膀胱がん、術前術後補助療法(化学療法併用)					日本、韓国、台湾
		胃がん、1次治療(ヤーボイ/化学療法併用)					日本、韓国、台湾
		ラブドイド腫瘍、2次治療					日本
		リヒター症候群、2次治療					日本
ピラフトビ	経口	結腸・直腸がん、1次治療、BRAF遺伝子変異陽性(セツキシマブ・化学療法(FOLFOX)併用)					日本
QINLOCK／ripretinib	経口	消化管間質腫瘍、2次治療、KIT エキソン11+ 17/18					北南米、欧州、豪州、韓国、台湾
ONO-4578	経口	胃がん、1次治療(オブジーボ併用)					日本、韓国、台湾
		結腸・直腸がん、1次治療(オブジーボ併用)					米国
		非小細胞肺癌、2次治療(オブジーボ併用)					日本
		ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん、1次治療					日本

製品名／開発コード／一般名	投与方法	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-4059／ チラブルチニブ塩酸塩	経口	中枢神経系原発リンパ腫、2次治療以降					米国
		中枢神経系原発リンパ腫、1次治療					米国
ONO-0530／sapablursen	注射	真性多血症					米国、欧州など
ONO-4482／relatlimab	注射	悪性黒色腫、2次治療以降（オブジーボ併用）					日本、米国、 欧州
ONO-7427	注射	固形がん（オブジーボ併用）					日本、米国、 欧州
DCC-3116	経口	固形がん（sotorasib併用）					米国
		悪性腫瘍（ripretinib併用）					米国
DCC-3084	経口	悪性腫瘍					米国
DCC-3009	経口	消化管間質腫瘍					米国
ONO-7475／ tamnorzatinib	経口	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん、 1次治療（Osimertinib併用）					日本
ONO-7913／magrolimab	注射	膵がん、1次治療（オブジーボ併用）					日本
		結腸・直腸がん、1次治療（オブジーボ併用）					日本
ONO-4685	注射	T細胞リンパ腫、2次治療					日本、米国
ONO-4538HSC	注射	固形がん					日本
ONO-8250	注射	HER2陽性固形がん					米国
ONO-7428	注射	固形がん					日本

■ がん領域以外

製品名／開発コード／一般名	投与方法	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ROMVIMZA／vimseltinib	経口	腱滑膜巨細胞腫					欧州
		慢性移植片対宿主病					米国
ONO-2017／cenobamate	経口	てんかん強直間代発作					日本
		てんかん部分発作					日本
ベレキシブル／ チラブルチニブ塩酸塩	経口	ステロイド抵抗性天疱瘡					日本
ONO-2808	経口	多系統萎縮症					日本、米国
ONO-2020	経口	アルツハイマー型認知症					日本、米国
		アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション					日本
ONO-1110	経口	帯状疱疹後神経痛					日本
		うつ病					日本
		線維筋痛症					日本
		社交不安症					日本
		ハンナ型間質性膀胱炎					日本
ONO-4685	注射	自己免疫疾患					日本、欧州
ONO-4915	注射	自己免疫疾患					日本

* : EMA申請受理

▶ TOPICS

新製品の発売

■ 腱滑膜巨細胞腫(TGCT)治療薬 ROMVIMZA、米国で新発売

2025年2月、当社グループの米国デサイフェラ社が研究、開発したキナーゼ阻害剤「ロンビムザ」が、米国食品医薬品局(FDA)において腱滑膜巨細胞腫(TGCT)の成人向け治療薬として承認され、米国で新発売しました。

TGCTは、関節の内側などに発生する非悪性の希少がんです。関節の激しい痛みや運動障害などが起こり、日常生活で大きな支障が生じる恐れがあり、多くのTGCT患者さんの治療に貢献することが期待されます。



創薬提携

■ 韓国LigaChem社と抗体薬物複合体(ADC)についてライセンス契約、創薬提携契約を締結

2024年10月、当社は韓国LigaChem Biosciences社(リガケム社)と固形がん領域において、前臨床段階の抗体薬物複合体(ADC)の「LCB97」に関するライセンス契約を締結しました。

ADCは抗体に抗がん剤を結合したがん治療薬で、がん細胞を効果的に攻撃することに期待が寄せられています。今回の契約では、当社は固形がんを対象にLCB97を全世界で独占的に開発・製造・商業化する権利を取得します。なお、本契約とは別途、創薬提携契約を締結しており、新たなADC創製にも取り組んでいきます。

■ 米国Ionis社と真性多血症治療薬候補についてライセンス契約を締結

2025年3月、当社は米国Ionis Pharmaceuticals社(アイオニス社)と、同社が真性多血症治療薬として開発中の「Sapablursen(サパブルセン)」について、ライセンス契約を締結しました。

真性多血症は、赤血球が過剰に産生され、肺、心臓、脳などで重篤な血栓のリスクが大幅に増加する希少な血液疾患です。サパブルセンは現在、成人の真性多血症の患者さんを対象とした第Ⅱ相IMPRESSION試験が進められており、米国食品医薬品局(FDA)からは、2024年1月にファストトラック指定を、2024年8月にオーファンドラッグ指定を受けています。

当社は全世界を対象に、独占的にサパブルセンを開発、商業化する権利を取得します。

■ カナダCongruence社とがん領域における新たな低分子化合物の創製に向けた創薬提携契約を締結

2024年12月、当社は、カナダCongruence Therapeutics(コングルエンス社)と、がん領域において創薬提携契約を締結しました。タンパク質の複数の形態を標的とする新たな低分子化合物の創製を目指します。

当社は、創製された低分子化合物に関して、全世界で独占的に開発・製造・商業化するオプション権を取得します。

■ リボルナバイオサイエンス社と中枢神経領域におけるRNA標的的低分子医薬品の創製に向けた創薬提携契約を締結

2025年3月、当社は、株式会社リボルナバイオサイエンス(本社：神奈川県藤沢市、リボルナ社)と、中枢神経領域において創薬提携契約を締結しました。リボ核酸(RNA)を標的とする新たな低分子化合物を創製することを目指します。

当社は、リボルナ社のRNAを標的とした独自の創薬プラットフォームを用いて、共同で創薬研究を実施します。当社は、創製された中枢神経系希少疾患を対象とした低分子化合物に関して、全世界で独占的に開発・製造・商業化するオプション権を取得します。

企業

■ 米欧拠点を機能再編

2025年2月、グローバル展開の拡大、加速に向け、当社の米国と英国の各拠点(現地法人)の機能を再編することを決定しました。これまで米国における開発・販売拠点、欧州などの開発拠点として主導的な役割を担ってきたONO PHARMA USA, INC.(OPUS)の機能を、昨年買収したDeciphera Pharmaceuticals(デサイフェラ社)に2025年7月を目途に統合します。デサイフェラ社は、米欧等において開発・販売基盤を有しており、統合後は既存のがん領域に加えて他の疾患領域の米欧での開発及び販売を担う当社グループの新たな事業拠点となります。

関連して、2025年3月にONO PHARMA UK LTD.(OPUK)の開発機能を閉鎖しました。なお、法人としてのOPUSについては研究提携活動、ライセンス活動の拠点として、OPUKは研究提携活動の拠点としてそれぞれ存続する方針です。

サステナビリティ

■ 「Dow Jones Sustainability Index」にて医薬品セクターでトップスコアを獲得

2024年12月、世界の代表的なESG投資指標であるDow Jones Sustainability Indices (DJSI) において「DJSI World Index」および「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に5年連続で選定されました。

なお、DJSI World Indexには、全世界を対象として各業界で上位10%に入った企業が選定されています。2024年は医薬品セクターでは当社を含む上位5社が選定されており、当社は全世界の医薬品セクターの中でトップスコアの評価を受けました。

■ S&P「The Sustainability Yearbook - 2025 Rankings」最高評価の「Top 1%」に選定

2025年2月、当社は世界的な調査・評価機関であるS&P Global社が発行した「The Sustainability Yearbook 2025」において、当社が所属する「医薬品」業界における最高評価の「Top 1%」に選定されました。

「The Sustainability Yearbook」は、S&P Global社が実施するサステナビリティ評価「CSA(コーポレート・サステナビリティ・アセスメント)」に基づき、各業界においてサステナビリティの取り組みに優れた企業を選定して掲載しています。

「The Sustainability Yearbook 2025」においては、グローバル企業7,690社以上の評価対象企業のうち、高い評価を獲得した780社が掲載され、さらに各業界における上位1%にあたる最高評価「Top 1%」には65社(日本企業は当社を含め9社)が選定されました。

当社は、医薬品事業を通じた「人々の健康への貢献」に加え、「次世代への豊かな地球環境の保全」、「いきいきと活躍できる社会の実現」、「透明性の高い強固な経営の確立」のサステナブル経営方針のもと、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



▶ 会社の概要

会社概要

(2025年3月31日現在)

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358百万円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	4,287名(連結) 3,464名(単体)
株式数	発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 498,692,800株 (自己株式28,919,831株を含む)

主要な事業所

(2025年3月31日現在)

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号〕
事業所	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、 大阪、高松、広島、福岡ほか全国主要都市
研究所等	水無瀬研究所(大阪府)、筑波研究所(茨城県)、 城東製品開発センター(大阪市)
工場	フジヤマ工場(静岡県)、山口工場(山口県)
海外子会社	Deciphera Pharmaceuticals, Inc. (米国マサチューセッツ州) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北)

役員

(2025年6月19日現在)

代表取締役会長CEO	相良 暁
代表取締役社長COO	滝野 十一
代表取締役 副社長執行役員	辻中 聡 浩
社外取締役	野村 雅 男
社外取締役	奥野 明 子
社外取締役	長 榮 周 作
常勤監査役	谷坂 裕 信
常勤監査役	出光 清 昭
社外監査役	菱山 泰 男
社外監査役	田辺 彰 子



本社ビル(大阪市中央区)

▶ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故
その他やむを得ない事由により電子公
告をすることができない場合は、日本
経済新聞に掲載いたします。
公告を掲載するホームページのアドレス
<https://www.ono-pharma.com/ja>

上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード4528)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
および 〒168-0063
各種お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031
受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金領収証」で配当金を受領されている株主様へ

口座振込による配当金のお受け取り方法のご案内

配当金は、銀行等の口座振込(下記の3種類よりご選択)によって、安全かつ確実にお受け取りいただくことができます。「配当金領収証」で配当金をお受け取りの株主様は、配当金のお支払開始日から満3年を経過いたしますとお受け取りができなくなりますので、口座振込のご利用をぜひご確認ください。

口座振込による 受領方法 (右記の3種類から お選びください)	株式数比例配分方式	登録配当金受領口座方式	個別銘柄指定方式
	ご所有のすべての株式等の配当金を証券会社の口座を通して受領する方式です。	ご所有のすべての株式等の配当金をご指定の1つの銀行等の預金口座で受領する方式です。	ご所有の銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座で配当金を受領する方式です。

※少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、配当金について非課税の適用を受けるためには、株式数比例配分方式をご選択いただく必要があります。

お問合せ先

証券会社の口座で株式を保有されている株主様 ▶ お取引の証券会社

それ以外の株主様 ▶ 三井住友信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00～17:00、土日休日を除く)